

保護者の皆様へ

横浜市教育委員会

**教職員の勤務実態へのご理解と改善策へのご協力について**  
(子どもとしっかり向き合う時間を確保するために)

保護者の皆様には、日頃より横浜の教育にご理解・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

教育委員会では、平成 25 年度に教職員約 1 万 4 千人に対し、「教職員の業務実態に関する調査」を実施し、次のような結果がでています。

○横浜市の教員の勤務時間は、全国や諸外国と比較しても非常に長い。

(横浜市：65.4 時間/週、日本：53.9 時間/週、諸外国：38.3 時間/週)

○部活動や授業の準備のための時間外勤務や休日出勤の割合が多い。

調査の結果を受け、子どもたちの充実した学校生活のために、教職員が心身ともにゆとりを持って子どもと向き合う（わかりやすい授業を行う、子どもの話をよく聴く、悪い行いをしっかり正すなど）環境をつくる必要があると考えています。

各学校では、児童生徒や保護者・地域の状況に十分配慮して、次の改善策などの実施を検討します。

- |              |                     |
|--------------|---------------------|
| <b>【改善策】</b> | ○夏季休業中の学校閉庁日の設定     |
|              | ○定時退勤日の設定           |
|              | ○課外活動（部活動など）の見直し など |

教育委員会では、「教員の事務の削減」や「部活動などにおける学校外の人材の派遣」などに取り組みます。

教職員の本来業務である、授業や児童生徒の指導に専念できる環境づくりに向けた取組へのご理解・ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。